

認知症作業療法 活動報告

三重県作業療法士会では、①知識と技術の研鑽の場づくり、②OTが地域に出て活動するための仕組みづくりを目的に、2017年度から認知症作業療法推進委員会（現、認知症とともに班）が発足し活動している。2021年度から活動目標を「認知症フレンドリー社会を目指す」と掲げ、下記の活動を実施中である。今年度も新型コロナウイルス感染症による対策として、活動をオンライン中心とし、認知症当事者や介護家族、他職種、OT県士会員のため、安全・安心の環境を整えたくうえで活動している。

① 認知症アップデート研修会

8/1（日）に県下の薬剤師と連携し、臨床で直ぐ活用できるよう、「病院・地域で働いて感じる多職種との連携」「BPSDに対する薬物療法」「認知症のBPSDに対する非薬物療法の取り組み」について講義を実施し、グループワークでは他県士会員や他職種と活発な意見交換ができた。

② 認知症スキルアップ研修会

昨年度は、鹿児島大学の田平教授を招き、OTだけでなく、他職種や行政など地域に携わる多セクションを対象に含め、認知症の人のIADLを工程分析して介入につなげるための視点をご教授いただいた。今年度は、地域ケア会議、認知症初期集中支援チーム、認知症カフェ、認知症の人と家族の会、通いの場、暮らしの保健室などの話題提供と、活動につながる検討会を行う予定である。また現在県の基金事業に挑戦しており、今後施策に則った活動につなげていきたい。

③ みえーる認知症 OT交流会 オンライン勉強会

2020年度から毎月1回オンラインを活用し、学習したこと、研究テーマ、事例検討、臨床での困りごと、伝達研修などについて、認知症とともに班メンバーが輪番制で発表・話題提供を行っている。また昨年度は、北海道県士会員と協働で勉強会を企画運営し、全国から認知症OTが参加し、ともにスキルアップを行った。

Mission1: 知識と技術の研鑽の場づくり

認知症フレンドリー社会を目指す

Mission2: OTが地域に出て活動するための仕組み作り

④ 回想法を活用した地域づくり

2020年度から毎月1回「OTオンライン回想法勉強会」を実施している。協働仲間づくりを行いながら、共に回想法を学び、リーダーの人材育成を図っている。その後、認知症カフェや回想法研修会の地域活動に繋げている。各市町1名以上の参加目標を掲げ、人材バンクを担っていく。

⑤ 認知症フレンドリー社会：買い物・スーパーに焦点を当てる

認知症の人の現状と課題、地域別ニーズ、スーパーに訪問し環境や現状調査、スーパーのマッピング作りなど、できることを探り実行している。北勢では認知症フレンドリーなイオンタウンを目指すため、有識者会議や本人ミーティング（実際に認知症の人がイオンタウン内を買い物し、その結果を含め対話をする）を開催予定である。それらの結果を2022年1月に研修会+報告会として実施予定である。

⑥ 関係機関との連携

- ・ 認知症の人と家族の会：OT2名が若年のつどいの世話人を担当（うち1名は代表）。OT2名が第36回 全国研究集会 in 三重の実行委員会を担当した。
- ・ メモリーカフェ'日永'：H28年度より、毎月「認知症の人への回想法実践」を実施中。OT数名参加。取り組み内容が、日本作業療法士協会誌に掲載されました。